

氏名	江良 裕子	部署	口腔保健科学専攻	職名	助教
研究分野	歯科理工学、口腔保健学				
学位	博士（歯学）				
学歴	1992年北海道立衛生学院 歯科衛生学科、2008年放送大学教養学部 生活と福祉専攻 2020年北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野・講座 生体材料工学教室（博士課程）				
経歴	1992年～2004年 歯科診療所勤務 歯科衛生士、2004年～2006年居宅介護支援事業所勤務 ケアマネージャー 2006年～2018年 北海道歯科衛生士専門学校勤務 教務主任、2018年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教				
所属学会（役職）	歯科衛生教育学会、歯科衛生学会、歯科理工学会、SPU学会（事務局会計）、北海道歯学会 代用臓器・再生医学研究会、日本管楽芸術学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Controlled drug-releasable novel dental restorative composite materials using nano-structured silica particles	共著	あり		Proceedings of Chitose International Forum 24, (accepted)	Y.Era, S.Safaei, M.Nesabi, S.Iwata,M.Endo, M.Kinjo, T.Ge, Q.Yin, A.Hyono, S.Abe, M.Nakamura H.Murata, and I.Watanabe	2024年9月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	Controlled drg-releasable novel dental restorative composite materials using nano-structured silica particles	共同		CIF 2024 (Sep. 3-4, 2024, Chitose, Japan)	Y.Era, S.Safaei, M.Nesabi, S.Iwata,M.Endo, M.Kinjo, A.Valanezhad, A.Hyono, ○S.Abe, M.Nakamura, H.Murata and I.Watanabe	2024年9月	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			抗炎症薬と殺菌薬とを徐放するナノ多孔質シリカ含有新規ハイブリッド歯科用軟膏の創製	研究代表者	2020.4～2025.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			赤外光により窩洞への流動性と形状維持能を制御する骨補填材/ハイドロゲルの創製	研究分担者	2024.4～2027.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	矯正歯科学		15	学内担当として、非常勤講師の講義や試験の準備、支援を行った。
2	歯科材料学		15	学内担当として、授業の準備やサポートを行い、授業がスムーズに進むよう努めた。
3	歯周病予防処置論Ⅰ		7	顎模型を用いて、エクスプローラー、シクルスケーラー、プローブ、キュレットスケーリングの操作方法について確認した。
4	歯周病予防処置論Ⅱ		12	顎模型上にてスケーリングのデモンストレーションを行い、テクニックが習得できるよう一人ひとりに指導した。
5	歯周病予防処置法Ⅲ		8	超音波スケーリング相互実習を安全、円滑に実施できるようサポートした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		2024.9	多職種連携の導入として、初めて対面した学生同士が活発に意見交換できるようサポートを行った。
2	齲蝕予防処置論		11	顎模型を用いてフッ化物塗布の様々な方法、シーラント処置について実習を行った。
3	チーム歯科医療学Ⅰ	○	24	歯科臨床の場で求められる基本的な歯科診療の補助の知識、技術、態度を身につけられるよう、講義・実習を行った。
4	チーム歯科医療学Ⅱ		24	臨床実習が始まる前の実践的な実習のため、学生達に根拠を考慮してもらうよう工夫した。
5	チーム歯科医療学Ⅲ		13	3年前期までに修得した専門領域の知識、技術、態度を臨地臨床実習の場で活かせるよう、実習オリエンテーション、カンファレンス、インシデントの対応を行った。
6	チーム歯科医療学Ⅳ		9	3年次までに修得した専門領域の知識、技術、態度を臨地臨床実習の場で活かせるよう、実習オリエンテーション、カンファレンス、インシデントの対応を行った。
7	臨地・臨床実習Ⅰ		2024.10～2025.3	様々な現場における歯科衛生士の役割と業務について理解し、歯科衛生士としての実践力を学ぶことができるよう支援した。
8	臨地・臨床実習Ⅱ		2024.4～2024.8	様々な現場における歯科衛生士の役割と業務について理解し、歯科衛生士としての実践力を学ぶことができるよう支援した。
9	臨地・臨床実習Ⅲ		2024.4～2024.8	地域歯科医療における歯科衛生士の役割と業務について理解し、歯科衛生士としての実践力を学ぶことができるよう支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	0名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	口腔保健科学専攻 第3学年担任	2024.4～2025.3	新年度ガイダンス、個人面談（前期1回、後期1回）の他、学生の希望に応じて面談等を行い支援した。学生が主体的に行動できるよう配慮した。	
2	学生アドバイザー	2024.4～2025.3	アドバイザーグループ全学年を対象としてアドバイザーミーティングを実施した。初対面でも質問しやすいような雰囲気作りを工夫し、ミーティング後もコミュニケーションが取れるよう工夫した。	

4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	リアル体験教室	埼玉県県民生活 部青少年課	歯と口の健康を守る歯科衛生士になりたい	2024.7
2	清透祭での公開講座	口腔保健科学専攻	お口からはじめよう！健康づくり講座	2024.10
3	埼玉未来大学	公益財団法人い きいき埼玉	オーラルフレイル防止の秘訣	2024.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	SPU学会	会計委員	2023.4～2025.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	企業・医療施設の方々	埼玉県産業振興公社主催 研究シーズマッチング会 口腔内を清潔に保つ歯科材料 ～ナノ多孔質シリカを活用した虫歯・ 歯周病予防～	2024.12
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会	2024.4～2025.3	
2	学科等における委員会等	有害物質等管理者	2024.4～2025.3	
3	大学広報活動	高校訪問への参加（4回）	2024.4～2025.3	
4	大学広報活動	高校生を対象とした大学見学の対応（7回）	2024.4～2024.12	
5	大学広報活動	オープンキャンパスの参加（3回）	2024.6～2024.8	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			